

通 信

\*\*\*\*\*

沖縄生物学会第54回大会の開催のお知らせと講演プログラム

\*\*\*\*\*

沖縄生物学会の第54回大会を下記の要領で開催いたします。今大会は口頭発表15題、ポスター発表34題(小学生2題、高校生9題、一般23題)の発表を予定しております。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

沖縄生物学会 第 54 回大会

会期： 2017 年 5 月 20 日(土)

会場： 琉球大学 理系複合棟 102 教室・玄関ホール

大会日程

	受 付	8:30～	理系複合棟玄関ホール
	口頭発表	9:00～10:30	理系複合棟 102 室
一 般 講 演	小学生ポスター発表	10:30～11:00	理系複合棟玄関ホール
	高校生・一般ポスター発表	11:00～12:00	理系複合棟玄関ホール
	休 憩 (昼食)	12:00～13:00	
	総 会	13:00～14:00	理系複合棟 102 室
一 般 講 演	高校生・一般ポスター発表	14:00～15:15	理系複合棟玄関ホール
	口頭発表	15:15～16:15	理系複合棟 102 室
	休 憩	16:15～16:30	
	口頭発表	16:30～17:45	理系複合棟 102 室
	懇親会	18:15～	琉球大学生協 (北食堂)

沖縄生物学会第 54 回大会準備委員会

大会長 当山 昌直

準備委員会委員長 中村 崇

準備委員会委員 伊澤雅子、玉城 歩、傳田哲郎、戸田 守、富永 篤、中西 希、成瀬 貫、守田昌哉

# 沖縄生物学会第54回大会

会期: 2017年5月20日(土)

会場: 琉球大学 理学部 理系複合棟 102 教室・玄関ホール



琉球大学  
(千原地区) 全体図

## 会場案内

場所: 琉球大学

沖縄県中頭郡西原町千原一番地

大会会場: 琉球大学理系複合棟 102 教室・玄関ホール

懇親会会場: 大学生協 北食堂

沖縄生物学会第54回大会参加費: 1,500円 (学生1,000円)

(\* 高校生以下は参加費免除)

懇親会費: 事前: 2,000円 当日: 3,000円

(学生1,000円)

## <交通案内>

・琉大北口方面行き 高速バス  
111番、113番および123番線  
「琉大入口」で下車  
(階段を上がると北口付近)  
徒歩約15分 (左図赤ルート)

・北口方面行き 路線バス  
97番、98番および298番線  
「琉大北口」下車  
徒歩約15分 (左図赤ルート)

・東口方面行き 路線バス  
97番および58番線  
「琉大東口」下車  
徒歩約10分 (左図緑ルート)

## 一般講演

### 【9:00～10:30】 口頭発表【午前の部】

#### 理系複合棟102教室

O-01 9:00-9:15

病原体を持ち込むシロアゴガエル：侵入の数理モデル  
○永田拳吾（九州大学理学部生物学科）

O-02 9:15-9:30

イメージセンスを用いたオオカナダモの光合成速度測定実験の工夫  
○飯田勇次（生物教育研究所）・片山舒康（生物教育研究所）

O-03 9:30-9:45

沖縄県におけるハイイロゴケグモ (*Latrodectus geometricus*) の生息状況  
○佐々木健志（琉球大学博物館）・与儀美奈子（那覇市）・下謝名松榮（浦添市）

O-04 9:45-10:00

南西諸島におけるミナミイシガメの分布記録と生息実態  
○嶋津信彦（外魚研；(株)IWL；放大）・山川（矢敷）彩子（沖国大・経）

O-05 10:00-10:15

サンゴ礁域におけるイイジマウミヘビの生息状況とサンゴ礁底質環境について  
○山本拓海・中村崇（琉球大学）

O-06 10:15-10:30

異なる緯度間での塊状ハマサンゴ類の色彩多型  
○池内 絵里（琉球大・院理工）・井口 亮（沖縄高専）・中村 崇（琉球大）

### 【10:30～11:00】 小学生ポスター発表

#### 理系複合棟1階玄関ホール

### 【11:00～12:00】 高校生・一般ポスター発表【午前の部】

#### 理系複合棟1階玄関ホール

### 【12:00～13:00】 休憩(昼食)

### 【13:00～14:00】 総会 理系複合棟102教室

### 【14:00～15:15】 高校生・一般ポスター発表【午後の部】

#### 理系複合棟1階玄関ホール

## 【15:15~17:45】 口頭発表【午後の部】

### 理系複合棟102教室

O-07 15:15-15:30

瀬底研究施設前のサンゴ白化および白化回復後の死亡事例について

○山城秀之（琉球大・熱生研・瀬底研究施設）・  
竹内一郎（愛媛大・院・農，環境先端技術センター）

O-08 15:30-15:45

顕微鏡画像における深度（焦点）合成， Focus Stacking の検討.

○泉水 奏・大倉信彦（琉球大学医学部人体解剖学・分子解剖学）

O-09 15:45-16:00

琉球列島の海底洞窟から得られたイシカイメン類・*Callipelta* 属の一種

（尋常海綿綱：四放海綿目：Neopeltidae 科）

○伊勢優史（名大・臨海）・水山克（琉大・院・理工）・成瀬貫（琉大・熱生セ）・  
藤田喜久（沖縄県立芸術大学）

O-10 16:00-16:15

自動撮影動画を用いたイリオモテヤマネコにおける  
個体間関係の決定要因の解明

○中西 希・宮沢佑玖・伊澤雅子（琉大・理）

## 【16:15~16:30】 休憩

O-11 16:30-16:45

沖縄県沿岸に生息するカキの系統解析

○塚原正俊・塚原恵子・島田康子（(株) バイオジェット）・  
西川信良（(一社)北海道食品産業協議会）・本間公也（共和コンクリート工業(株)）

O-12 16:45-17:00

沖縄島宜名真海底鍾乳洞（通称：辺戸ドーム）で採集された甲殻類

○藤田喜久（沖縄県芸）・伊勢優史（名大・臨海）・  
水山克（琉大・院・理工）・下村通誉（北九州市博）

O-13 17:00-17:15

ウミヘビ類を対象とした環境 DNA 分析の有効性の評価

○徳山孟伸（琉球大・院・理工）・佐藤行人（琉球大・研究推進機構）・  
笹井隆秀（須磨水）・戸田守（琉球大・熱生研）

O-14 17:15-17:30

沖縄県うるま市におけるヤシガニの生息状況

寺松春菜（沖国大）・岡慎一郎（沖縄美ら島財団）・  
○山川（矢敷）彩子（沖国大）

O-15 17:30-17:45

沖縄の花外蜜腺を有する栽培植物に誘引されるアリ類とその教材化

○漢那憲香・富永篤（琉大教育）・佐々木健志（琉大博物館）

## 【ポスター発表(一般)】

- P-01. 琉球列島におけるジャコウネズミの分布と生息状況  
○中本敦 (岡山理科大学・理)
- P-02. 沖縄島の破風墓より見つかったミナミヤモリの大型卵塚  
○小林峻 (琉球大・院・理工)・長嶺隆・中谷裕美子 (どうぶつたちの病院沖縄)・  
伊澤雅子(琉球大・理)
- P-03. シロオビアゲハの後翅上赤斑紋の表現型可塑性  
○加藤三歩 (鹿児島大・連合農)・立田晴記・辻和希 (琉球大・農)
- P-04. 沖縄島から採集された日本初記録のジボガアキアミ (新称)  
○福地順 (琉球大・理・生物)・花村幸生 (和歌山県田辺市在住)・  
今井秀行 (琉球大・理・生物)
- P-05. 琉球列島におけるビロウ *Livistona chinensis* var. *subglobosa* の開花フェノロジー  
○安部慶一郎 (琉球大・院・理工)・傳田哲郎 (琉球大・理)・  
合田雅浩 (琉球大・院・理工)・奥田康平 (琉球大・理)・阿部悠 (琉球大・院・理工)・  
小林峻 (琉球大・院・理工)・伊澤雅子 (琉球大・理)
- P-06. 野生ヤンバルクイナは台石を使用してカタツムリを割る  
宮澤 楓・○島田 将喜 (帝京科学大・アニマルサイエンス)
- P-07. 西表島産マダラアシミズカマキリの生活史  
山田尚生 (宮ヶ瀬ダム周辺振興財団)・○北野忠 (東海大学教養学部)・  
崎原健・河野裕美 (東海大学沖縄地域研究センター)
- P-08. 飼育下におけるヤンバルクイナ (*Gallirallus okinawae*) の風切羽の換羽  
○玉那覇彰子・向真一郎・吉永大夢・半田瞳・中谷裕美子・金城道男 (NPO どうぶつたちの  
病院 沖縄)・山本以智人 (環境省やんばる野生生物保護センター)・尾崎清明 ((公財)山階鳥  
類研究所)・長嶺隆 (NPO どうぶつたちの病院 沖縄)
- P-09. モロコシソウの芳香成分と防虫成分の分析  
○遠藤 達矢 ((一財) 沖縄美ら島財団)・  
高良 亮 ((一社) トロピカルテクノプラス)・  
篠原 礼乃 ((一財) 沖縄美ら島財団)
- P-10. 西表島の低地におけるカンムリワシの個体数動態 (2013~2017年)  
○水谷 晃 (東海大学沖縄地域研究センター)・  
杉本正太 (環境省西表野生生物保護センター)・  
河野裕美 (東海大学沖縄地域研究センター)
- P-11. 西表島の林縁水田域におけるカンムリワシの生息パターンとペア数  
○田中詩織 (東海大院人間環境)・水谷 晃 (東海大沖縄)・  
晝間さよこ (東海大院人間環境)・武藤大輔 (東海大海洋)・  
網倉真太郎 (東海大海洋)・北野 忠 (東海大教養)・河野裕美 (東海大沖縄)

- P-12. 西表島と石垣島の林縁域におけるカンムリワシの繁殖生態  
 ○晝間さよこ（東海大院人間環境）・中本純市（石垣 BIRD 観察）・  
 水谷 晃（東海大沖縄）・田中詩織（東海大院人間環境）・  
 武藤大輔（東海大海洋）・網倉真太郎（東海大海洋）・藤野裕弘（東海大教養）・  
 杉本正太（環境省西表保護セ）・河野裕美（東海大沖縄）
- P-13. 2016 年西表島網取湾における礁斜面 40 m までのサンゴ白化現象と水温環境  
 ○河野裕美（東海大沖縄）・村上智一（防災科研）・中村雅子（東海大海洋）・  
 玉村直也（東海大生物）・水谷晃（東海大沖縄）・下川信也（防災科研）
- P-14. 崎山湾・網取湾自然環境保全地域におけるウミシヨウブ群落の衰退と  
 アオウミガメの生息状況および摂食防止策の検討  
 水谷 晃（東海大沖縄）・○井上太之（東海大沖縄）・井上嵩裕（東海大海洋）・  
 太田いづみ（東海大海洋）・村上智一（防災科研）・  
 杉本正太（環境省西表保護セ）・河野裕美（東海大沖縄）
- P-15. 琉球列島産ボチョウジ属植物 3 種の発芽特性：上胚軸種子休眠は沖縄でも見られるか  
 ○渡邊謙太・川満日向子・西田琉弥・井口亮（沖縄高専）
- P-16. 国頭村県道 70 号線沿い（安田～楚洲）におけるヤンバルクイナ出現  
 及び見学者に関する調査  
 ○新垣裕治・比嘉太造（名桜大・国際・観光）
- P-17. サンゴ組織内に認められる細菌集合体の局在  
 ○石持みずき（日大・生物/琉球大・院理工）・和田直久（日大・生物/宮崎大・研究推進）・  
 松井妙子・間野伸宏（日大・生物）
- P-18. 沖縄本島と西表島の干潟から分離した無色珪藻の培養と解析  
 ○木嶋久美子・西田千尋（福工大院・工）・堺眞砂美・川上満泰・天田 啓（福工大・工）
- P-19. 沖縄県の水田とその周辺に生育する絶滅危惧植物の現状と保全 I  
 ○赤井賢成（一般財団法人沖縄美ら島財団・総合研究センター）
- P-20. やんばる地域におけるノイヌの生息状況および希少種の捕食事例  
 ○中谷裕美子・金城貴也・金城道男・山城須賀子・仲地学（NPO どうぶつたちの病院沖縄）・小  
 高信彦（森林総合研究所）・儀間朝治・大沼学・羽賀淳・岩田律子（国立環境研究所）・長嶺隆  
 （NPO どうぶつたちの病院沖縄）
- P-21. 遺伝子解析による食中毒原因魚種鑑別法の検討  
 ○大城聡子・高嶺朝典・仲間幸俊・佐久川さつき（沖縄県衛環研）・  
 多和田佑香（沖縄県下水道管理事務所）・恵飛須則明（沖縄県衛環研）
- P-22. 浦添市港川海岸におけるチドリミドリガイの生態  
 ○宮城ひかり・山川（矢敷）彩子（沖国大）
- P-23. 全世界のナガミハマナタマメ集団間の授粉後生殖隔離の検証  
 ○梶田結衣（琉大・熱生研・西表）・山本崇（琉大・熱生研・西表，鹿児島大・連合農）・栄  
 村奈緒子（京大・生態研センター）・井村信弥・石垣圭一・堤ひとみ（琉大・熱生研・西表）・  
 Alison K S Wee（琉大・熱生研・西表，広西大林学院）・高山浩司（ふじのくに地球環境史ミ  
 ュージウム）・梶田忠（琉大・熱生研・西表）

## 【ポスター発表(小学生)】

SP-01. オオメジロザメの歯の密度くらべ

岩瀬 暖花 (那覇市立天久小)・岩瀬 絵里・岩瀬 晃啓

SP-02. 「慶留間島の自然 ～シカの角で年齢がわかるのか～」

副田奈々子・桃原直樹 (座間味村立慶留間小)・遠藤晃 (南九州大学)

## 【ポスター発表(高校生)】

KP-01. 辺土名高校周辺の河川調査 Vol.11～水生生物と水質による環境評価～

○稲福倭子・○嘉那原太一・○長谷川瑤碧・○宮城あゆみ (辺土名高校サイエンス部河川班)

KP-02. 嘉津宇岳のバタフライ・ウォッチングV～年変動から分かる台風の影響～

○北村 滯 (名護高校生物・化学部)

KP-03. 名護市我部祖河川におけるカダヤシ科魚類の繁殖に関する一考察

○玉城明依・島袋省吾・稲田優果 (名護高校生物・化学部)

KP-04. 沖縄県本部町塩川と今帰仁村湧川における塩水湧水の水質と今後の調査展望

○工藤 碧・植田 真名・鮎田 信忠 (名護高校生物・化学部)

KP-05. ウデナガカクレダコの飼育と学習実験

沖縄県立北部農林高等学校 生物研究部

KP-06. 北農校内に生息する淡水魚調査

沖縄県立北部農林高等学校 生物部

KP-07. グッピーとカダヤシの生殖隔離の研究

知念愛乃音・高良由衣・比嘉仁菜・与那覇鈴夏 (沖縄県立球陽高等学校 3年)

KP-08. クビレヅタ (海ぶどう) の人工環境下における品質向上と養殖の効率化について

新垣 真理恵・伊禮凜・久高伶実・仲嶺日菜子・渡辺愛可・田邊 凧・比嘉綾音・

迫立真子・谷貝直未・石原凧紗 (沖縄県立球陽高等学校 3年)

KP-09. クロサギの体色 (黒色型と白色型) の割合についての研究

～生息環境との関連性と遺伝的な法則性を明らかにする～

○石川 琉人・○儀間ジノ・○内間和志 (辺土名高校サイエンス部野鳥班)

## 【18:15～】懇親会

### 大学生協 北食堂(工学部近く)

公開シンポジウム終了後、構内の大学生協 北食堂(工学部近く)に移動し、ささやかな懇親会を予定しております。講演時間内に出来なかった討論や会員同士の親睦をより深めるため、是非ご参加下さい。

\*\*\*\*\*

## 生物関連画像データベース試験公開 &データベース画像大募集！

\*\*\*\*\*

沖生会員ならびに沖生教研会員の皆様、大変長らくお待たせしました。

え？別に待ってないよ？

そんなこと言わないでください。

2016年5月の学会総会で提案、可決いたしました沖生会理科連携ワーキンググループ運営による画像データベース（以下DB）が、ついに始動いたします！

とはいってもまだ画像募集の段階ですが、逐次公開準備を進めてまいります。

会員の皆様方に画像DBを見ていただければイメージがわき、画像の投稿を頂けるということで、3月末より画像DBの試験公開を開始しました。

下記URLよりユーザ名、パスワードを入れれば閲覧が可能になっております。このユーザ名とパスワードは一時的なものですので、完全公開になればまた、変更の可能性があります。会員の皆様方には一度ご覧になって頂き、どしどしご応募いただければと思います。

http://www.okibio.jp/photo/index.php ユーザ：oki_estu パスワード：Okibi0_estu
---

### 画像の投稿について Q&A

#### 1. どんな画像を投稿すればいいの？

生物に関するものなら何でもかまいません。大学や高校の授業で使えそうだな、と思うものならなお良しですね。本DBは、単なる“生きものの”DBではなく“**授業に使える**”が売りのDBを目指し、ネット上の他の数多のDBとの差別化を図りたいと考えています。

また、こんな画像欲しいな、あんなの誰か投稿してくれないかな、などの要望も随時受けたいと思います。

#### 2. 投稿する画像の大きさに制限はないの？

投稿画像は1枚5MBまでとします。大きい場合は提供者が投稿前に5MB以下に縮小してください。

#### 3. 映像は投稿できないの？

5MB以下なら問題ありませんが、当面は**画像優先**でおねがいします

#### 4. 画像の投稿は何枚までOK？

枚数の制限はありません。メール添付で送ってください（メールアドレスは以下に）。

ただし、今年度は全部で3,400枚までを上限とします。それを越えた場合は、2018年度に追加します。

#### 5. 画像にクレジットは入るの？

DB内の画像には**クレジットは入りません**（クレジットを入れる作業は行いません）。提供者がクレジットを入れたい場合は、投稿前にご自身で入れてください。

## 6. ファイル名はなんでもいいの？

ファイル名は以下のようにしてください。

『 20170203, 細胞と代謝, 実験, ゾウリムシ, 山崎仁也 』

『 日付、階層名（下図参照）、生物名、提供者名 』の順です。ワードの切れ目はカンマかスペースでお願いします。

ルールに従っていない場合、不備や誤記、不明な点があった場合は係より問い合わせがまいります。

このファイル名が利用時に検索する際のキーワードにもなります。他のキーワードを設定したい場合は、生物名の前後にはさんでください。

## 7. 画像の送り先は？

送り先は、沖縄県総合教育センター（IT 教育センター）にて設定された沖縄生物教育研究会のメールアドレスで、アドレスは以下です。

画像の送り先 『 okisei@as.open.ed.jp 』

こちらにメール添付で送られた画像を、係が分担して確認し、随時 DB へ受け渡します。

投稿に関して疑問点や問い合わせがある場合も、上記アドレスにて対応可能です。

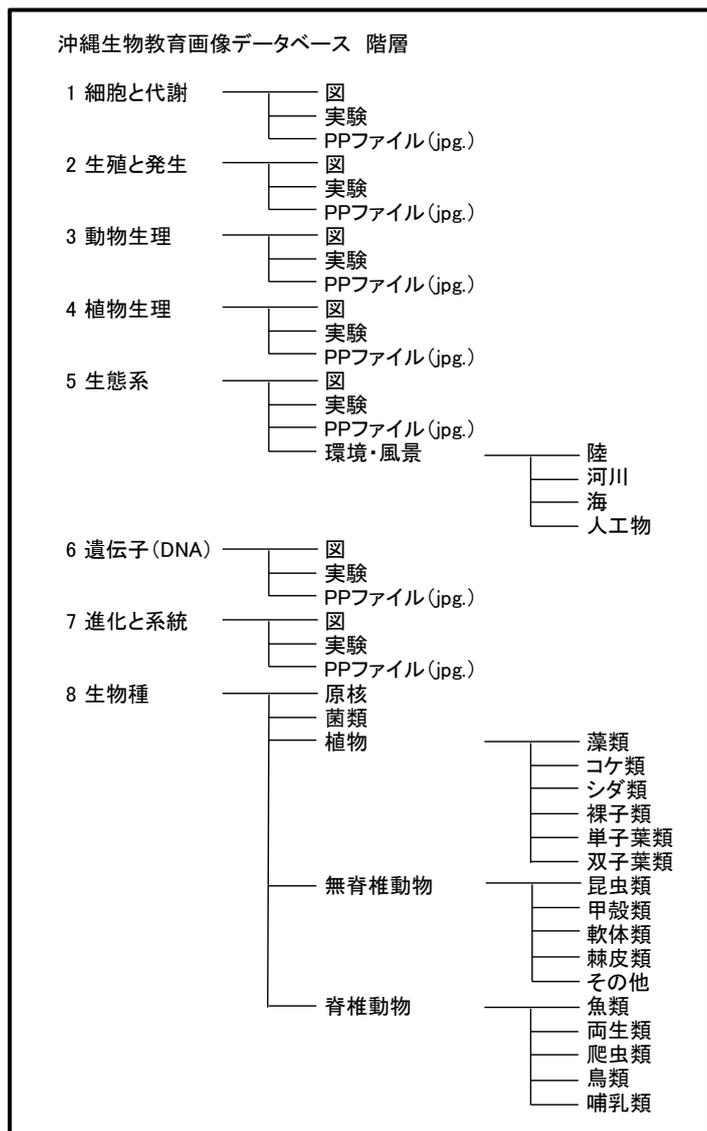
ただし、投稿以外の DB に対する提案、疑義等に関しては沖生会 HP の問い合わせアドレス (okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp) へ連絡ください。

## 8. 著作権はどうなってるの？

この DB は、“**会員が気軽に自由に使える**”ことを目的としています。つまり、**著者の権利はほとんど保護されておられません**。他に流出したらかなわんな、と思うような画像は提供されない方が無難です。自由に使ってください、というものを提供ください。

授業で活用するのはもちろんのこと、データのやりとりから個人的なつながりができるのもよし、画像が貯まったら沖生会で写真集（図鑑）を出すもよし、沖生教研の副読本に利用するもよし、用途の発展は無限ですね。

ではではみなさま！  
ふるって投稿してください！！  
お待ちしております(^ ^)/



\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会評議員会報告

\*\*\*\*\*

沖縄生物学会評議員会が2017年4月18日(月)午後7時から、琉球大学理学部528教室において開催されました。参加者は19名でした。

### [報告事項]

#### 1. 第54回大会準備・運営・分担

日程は2017年5月20日(土)、場所は琉球大学との報告があった。シンポジウムは行わないこと、学会の持ち方についてアンケートを行うこと、小学生・高校生ポスター発表を行うこと、懇親会は北食堂で行うことなどが報告された。詳細は3ページ以降をご覧ください。

#### 2. 会員名簿の整理について

5月の総会で状況を報告すること、過去5年分の支払い状況を確認する予定との報告があった。

#### 3. 生物画像データベースについて

2月からDBの投稿画像の募集を開始したこと、3月中旬から試験公開が開始されたことが報告された。現状は投稿が少ないことも報告された。イメージや目的がはっきりしないので、こうした事項についての整理やその周知を進める予定との報告があった。

#### 4. 編集幹事について

編集幹事を交代したいとの希望が報告された。会長がひとまず対応し、編集フローを作成する予定が報告された。編集業務サポート体制の改善をはかる案も報告された。

#### 5. 学会通信の過去記事について

過去の通信の記載内容の一部を外部ホームページへ掲載する要望について報告された。著作権の関係上、すぐに許可はできないということで、リストだけ掲載を可とすることが報告された。

#### 6. 学会通信の準備

大会日程が例年より早く、4月末に通信を出す必要があり、準備を進めている事が報告された。

#### 7. その他

学術会議協力学術研究団体への申請のため、会員名簿、会則、会設立の趣旨、確認書と申込書を提出する必要があり、その準備のためにも会員名簿を整理する必要がある事が報告された。

### [審議事項]

#### 1. 会則の改訂について、

会費滞納会員の問題に対応するための除籍手続きの簡素化のため、会則を変更する案が説明された。審議の結果、会則の改訂自体は承認され、総会で審議されることになった。移行措置についても議論があり、今後幹事会で審議して改訂案を調整することになった。

#### 2. 小中高生の発表について：幹事会で検討、評議員会で承認

小中高生の発表の条件についての説明があった。発表は保護者または指導者が会員であること、発表はポスターのみとすることなどの案が出され、承認された。ただし、これは今回のみの対応であり、今後のことについては引き続き議論することとなった。

### [その他]

大会の発表申し込みの際の講演要旨が学会誌の様式に準拠していないものが多いこと、締め切り後の変更、差し替え依頼が多いこと、懇親会事前申し込みの確認が煩雑であること等の課題が挙げられ、今後、改善を図ることになった。

\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会役員一覧表

\*\*\*\*\*

沖縄生物学会の会長、副会長、監査員および評議員が下記のように選出され、前回の総会で承認されました。任期は2年間で、2018年5月の総会までです。

会長 当山 昌直(沖縄大学地域研究所)  
副会長 千木良 芳範(宜野湾市立博物館)、宮里 幸利(沖縄生物教育研究会)

監査員 盛口 満(沖縄大学)  
齋藤 由紀子(琉球大学)  
山崎 仁也(県立博物館・美術館)

### 評議員

大学関係 新垣 裕治(名桜大学) 照屋 建太(沖縄キリスト教学院大)  
藤田 喜久(県立芸大)  
研究機関 岡 慎一郎(沖縄美ら島財団)  
長井 隆(沖縄県環境科学センター) 水野 拓((株)イーエーシー)  
行政機関 城間 恒宏(沖縄県教育庁) 德里 政哉(沖縄県自然保護課)  
高校関係 大城 直輝(那覇西高校) 知花 史尚(中部商業高校)  
大隅 大(名護高校)  
中学校関係 平敷 りか(中城中学校)

池原貞雄記念賞選考委員会委員長 千木良 芳範(宜野湾市立博物館)  
池原貞雄記念出版委員会委員長 横田 昌嗣(琉球大学)  
自然史博物館設立要請委員会委員長 戸田 守(琉球大学)

庶務幹事 伊澤雅子(代表幹事:琉球大学) 中村 崇(琉球大学)  
富永 篤(琉球大学) 戸田 守(琉球大学)  
中西 希(琉球大学) 山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)  
会計幹事 傳田哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)  
編集幹事 成瀬 貫(琉球大学) 守田 昌哉(琉球大学)  
編集委員 久保田 康裕(琉球大学) 太田 英利(兵庫県立大学)  
大瀧 丈二(琉球大学) 今井秀行(琉球大学)

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールは、[okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp](mailto:okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp) です。

\*\*\*\*\*  
**沖縄県生物学会賛助会員**  
\*\*\*\*\*

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会 沖縄営業所 所長 小林宏行  
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政  
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也  
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

\*\*\*\*\*  
**原稿募集のお知らせ**  
\*\*\*\*\*

これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこで、第45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。

1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿に際しては、第45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意ください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫 (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。

原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1  
琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内  
沖縄生物学会編集委員会

\*\*\*\*\*  
**沖縄生物学会**  
\*\*\*\*\*

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地  
琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内  
生物系事務室 TEL:(098)895-8577  
庶務 中村 崇 (098)895-8897  
FAX:(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp  
振替口座(郵便):02030-8-30433 沖縄生物学会